

## ○津軽森林管理署金木支署の「採材等現地検討会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材現地検討会等に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。

令和2年10月16日(金)に青森県中泊町の今泉山国有林で開催された「令和2年度 採材等現地検討会」に、青森事務所から2名出席してきました。

秋晴れのなか、林業関係団体や支署管内の林業事業体など30名を超える参加者で開催されました。

今回の採材検討会ではヒバ及び広葉樹の採材について検討を行いました。

支署長挨拶後、署担当者から支署のスギや広葉樹の生産比率や販売単価等の実績、合板材として受入れできないものなどについて資料を元に説明があり、その後採材の検討に移りました。

ヒバ2本とサクラ、ミズナラ、クリの全幹材について、4班に分かれて採材方法の検討を行いました。検討した結果を各班の代表者が発表し、出席した林業関係団体からヒバ、広葉樹の採材について説明いただき、その後意見交換を行いました。広葉樹の採材については、青森県森林組合連合会から、樹種ごとに採材での留意点等を交えながら説明していただきました。

最後に青森事務所からは、採材検討会の講評として、広葉樹等の有利採材に向け共通認識を深めることができたこと、また針葉樹合板材の4m採材の推進や労働安全について説明させていただき検討会を終了しました。

青森事務所では今後も採材検討会に積極的に参加し、国有林材の有効な利用に貢献して参りたいと考えています。

